

「人権を確かめあう日」リレーメッセージについて

市では、2004年8月11日から、毎月11日を「人権を確かめあう日」と定めています。そして、このことを多くの人に知っていただき、人権への思いを深めていただくため、毎月11日に、庁内放送を利用して、リレー形式で各部局から人権に関するメッセージを朗読していただいている。今月のメッセージはこちらです。どうぞご覧下さい。

「人権を確かめあう日」リレーメッセージ No.254

2025.11.11 伊賀南部環境衛生組合



市民のみなさん、職員のみなさん、こんにちは。毎月11日は「人権を確かめあう日」です。今月は、伊賀南部環境衛生組合から254回目のメッセージをお送りします。皆さんの中には、日ごろからSNSやAIを使っている方も多いのではないでしょうか。

SNSは本当に楽しくて、同じ趣味の人とつながれたり、かわいい動物の動画でほつとしたり、世界中の人と喜びを共有できる素敵なもの場です。

AIもとても便利で、手間のかかる作業を一瞬で片づけてくれたり、毎朝最新ニュースを教えてくれたり、専門的な知識を分かりやすく説明してくれます。寂しいときは話し相手にさえなってくれます。

その一方で、SNSを見ていて、事実かどうかはっきりしないのに、怒りや憎しみをあおる投稿に出会い、心を奪われてしまうことはありませんか。

近年、国際的にも、こうしたリスクが問題視されています。

国連からは、一部のSNSが少数民族へのヘイトスピーチの拡散を助長し、暴力や憎悪をあおっていると指摘されています。

AIについても、昨年の国連安全保障理事会で、AIが社会を大きく変える力を持ち、前向きな変化をもたらす一方、現実味のある偽情報を素早く作りだし、SNSなどを通じて広げ、世論を操作し、真実を見分けにくくする懸念が述べされました。

いまや、世界を動かすほどの技術が、私たち一人ひとりの手の中にあります。だからこそ、この技術を、怒りや憎しみではなく、すべての人々の幸せのためにどう使うか、一緒に考えていきませんか。

情報を確かめる、言葉を選ぶ、相手を尊重する、他人を思いやる。こうした小さな一歩の積み重ねが、人権を大切にする社会につながり、私たち一人ひとりが安心できる未来を創っていくことになるのではないでしょうか。

これで、伊賀南部環境衛生組合からのメッセージを終わります。